

令和 7 年度 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会
第 1 回地域経済活性化に関する分科会
議事要旨

(1) 概要

開催日時	令和 7 年 6 月 13 日(金) 午前 10 時 30 分から午前 11 時 50 分まで
開催場所	荒川区役所 5 階大会議室
出席者 (敬称略)	(分科会委員) 分科会長 遠藤 智久 委 員 鈴木 あづさ (オンライン) 委 員 竹前 友勝 委 員 野城 菜帆 (区側出席者) 産業経済部長 小林 弘幸 産業振興課長 山下 英男 経営支援課長 中野 大志 就労振興課長 伊藤 大介
配付資料	・ 資料 1 区内の革新的企業と区の支援策について

(2) 議事

議題	「荒川区発の革新的企業を創出するためには」
議事内容	
1. 事務局からの資料説明 区内の革新的な事業活動を行う企業や区の支援策について、事務局より説明がなされた。 2. 意見交換（各委員の主な発言） ・ 区では様々な支援策を実施しているが、区の支援策の認知度が低いことが課題である。 ・ 起業にあたって、経験者の声は指南役となり大変役に立ったことから、区の支援策を周知するための具体的な方法として、経験者からの口コミによる情報発信、企業間交流の促進などがある。また、交流会等の実施にあたっては、イベントが浸透するよう、定期	

的な開催が良い。

- ・起業家・企業同士のネットワーク形成を促進するために、MACC 事業 (Monozukuri Arakawa City Cluster) のような顔の見える関係構築は必要。そのため、交流会の実施やテーマを絞っての工場見学ツアー等のイベントがあると良い。
- ・あらゆるアイデアを形にできるという、荒川区の製造業の強みを活かした、企業間連携の強化と新たなビジネスチャンス創出が必要である。
- ・区内事業者の活用が進むよう、区内企業紹介・検索サイトである「あらかわ産業 NET」の企業情報の他、空き家、空き工場、廃業予定の工場等に関する情報も得たい。
- ・区の支援策の認知度向上と起業家・企業のネットワーク形成を促進することで、荒川区発の革新的企業創出を加速させる。
- ・区内に起業家、企業を呼び込むためには、荒川区の地域特性や強みを活かしたブランディングが必要である。セールスポイントとして例えば、製造業に関する困りごとは荒川区で全て解決可能、小ロット製造・要望に応じた試作品の製造が可能であること、地域コミュニティの近さなど。
- ・起業家にとって、初期段階に専門家による創業相談は有用であるが、相談対応にあたっては、現状の経営レベルや成長性に応じた現実的なサポートと適切な支援メニューの提供が重要である。
- ・起業家・企業にとって、より魅力的な環境を整備することで、荒川区への定着を促進する。例えば、3D プリンターやレーザーカッター、ドリル等の設備が整っていると、創業初期の人たちの助けとなる。

(以上)